

計画の名称	枚方市駅周辺地区における安心・安全で快適に暮らせる市街地の整備と賑わい創出のまちづくり											
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○
交付対象	枚方市											
計画の目標	公共施設が不足している市街地において、市街地再開発事業等により、老朽建築物の改善、公共施設整備の促進、交通結節点機能の強化等を行うことで、安心・安全で快適に暮らせる駅前周辺地区の市街地の形成を目指す。 また、駅近接の低未利用地において適正な高度利用を進め、地域特性を活かした都市機能の更新を図り、周辺市町の広域中心拠点に相応しいまちづくりを推進し、賑わいの創出を図る。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	45,842	A	45,842	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31		R6
1	事業施行区域における、賑わいの創出 市街地再開発および駅前広場拡充に伴う交流人口の増加 まちづくりによる賑わいの創出 (市街地再開発区域への来街者数)	0人/日	人/日	11000人/日
2	事業施行区域における、防災機能の向上 事業施工区域内の老朽建築物の解消率 防災機能の向上 (老朽建築物解消率 = 耐用年限の2/3を経過していない建築面積 ÷ 区域内の全建築面積)	27%	%	100%
3	事業施行区域における、防災機能の向上 対象区域内の消防活動有効率 消防水利包含による防災機能の向上 (消防活動有効率 = 対象区域内の消防水利包含免責 ÷ 対象区域面積)	86%	%	100%
4	事業施工区域における、利便性の向上 路線バス乗り場の整着率 後退でのバス乗り場への停車削減による事故防止の向上、駅前広場の安心・安全の向上 (整着率 = 北口駅前広場の整着可能なバス乗り場 ÷ 北口駅前広場の全バス乗り場)	25%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
計画の期間(事業期間)は6カ年ですが、システム登録においては2つに分かれます。(その : H31~R5、その : R6~R6)												

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	枚方市	間接	枚方市駅周辺地区市街地再開発組合	-	-	枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業	商業、業務、住宅、行政等 約2.9ha	枚方市						41,903	1.49	-	
												小計						41,903		
道路事業	A01-002	街路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村道	改築	枚方市駅周辺地区関連街路整備事業	駅前広場 約4,800m2	枚方市						3,939	1.49	-	
												小計						3,939		
											合計						45,842			

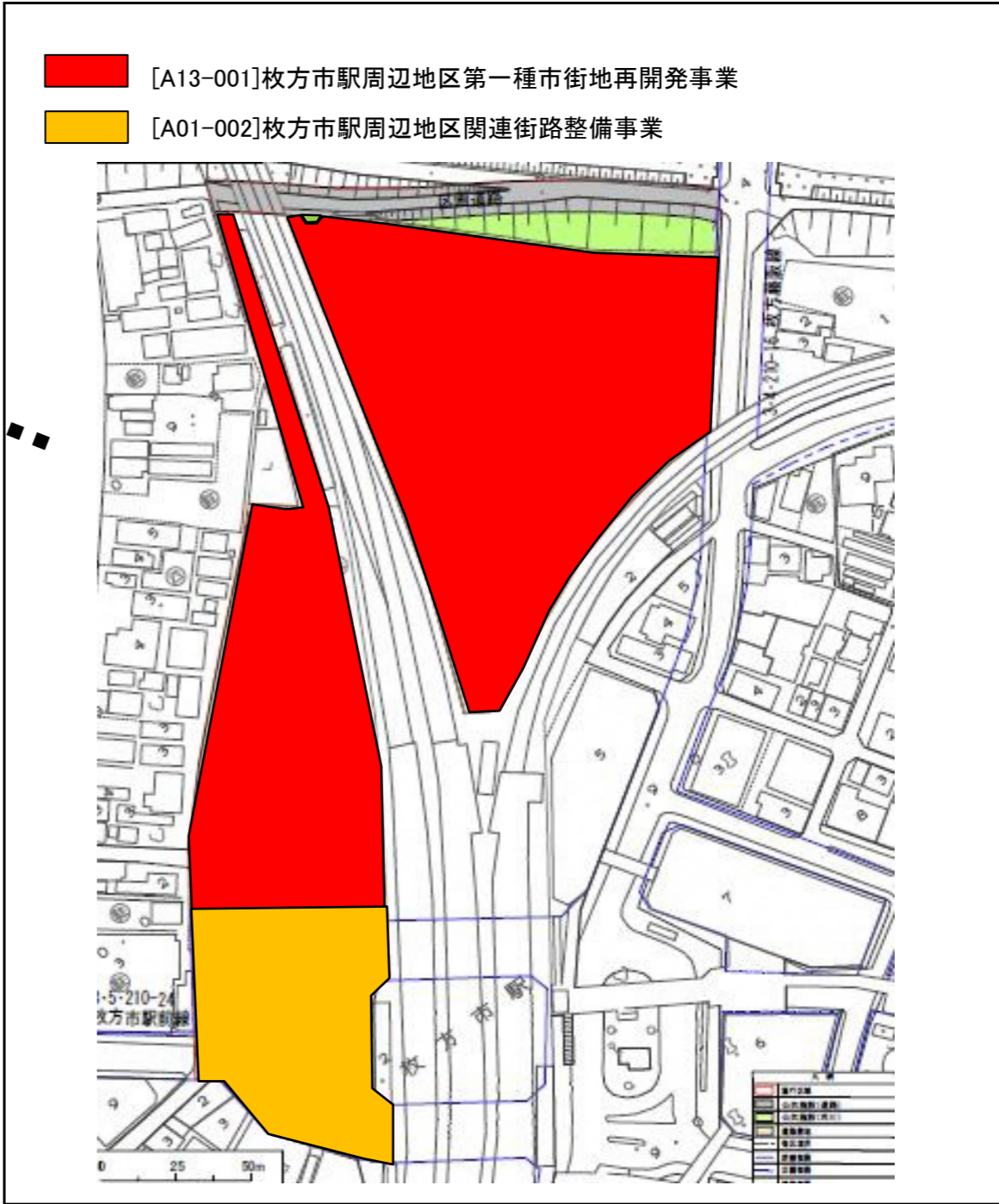
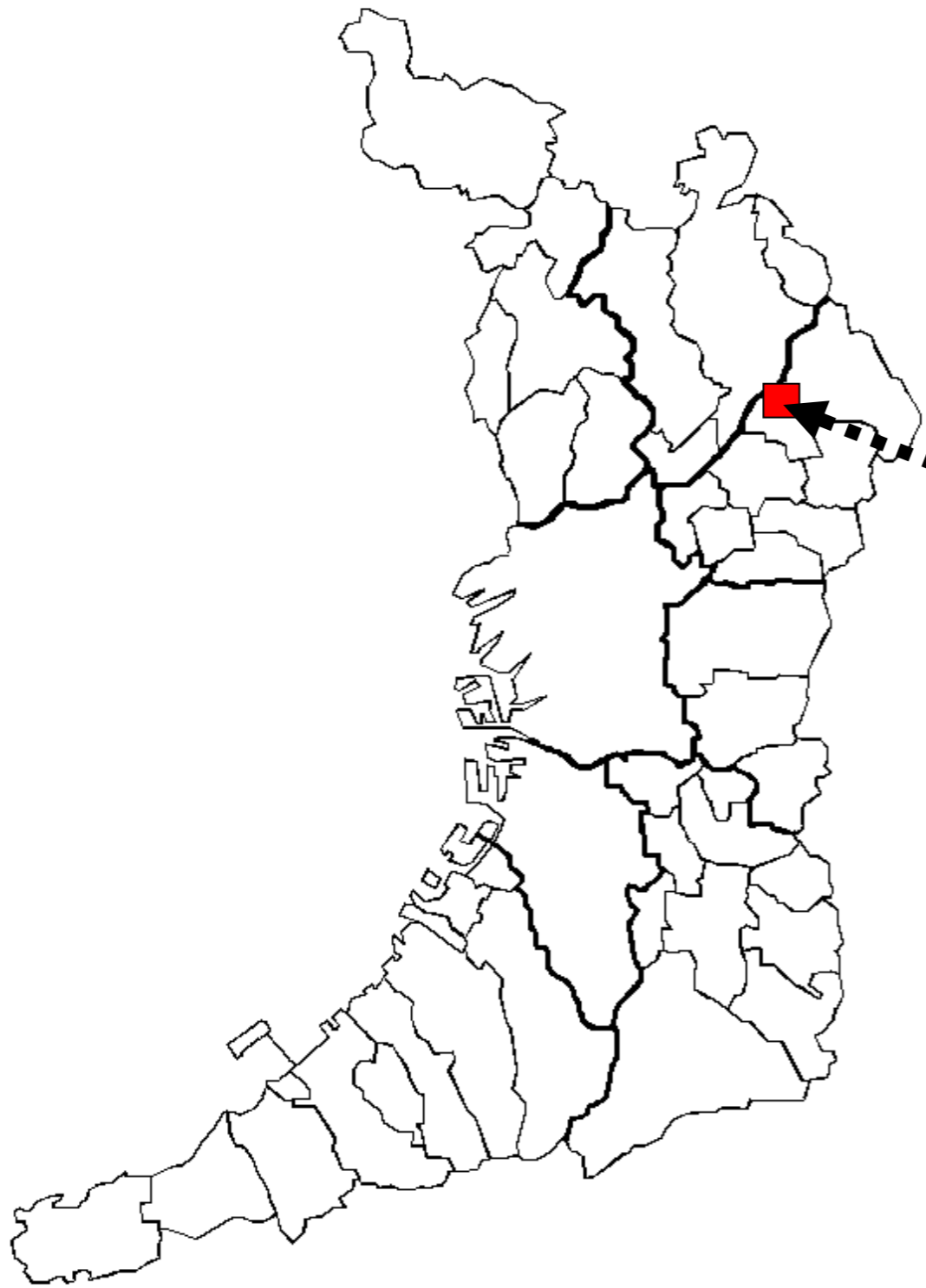
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31				
配分額 (a)	336				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	336				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	336				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	枚方市駅周辺地区における安心・安全で快適に暮らせる市街地の整備と賑わい創出のまちづくり		
計画の期間	平成31年度 ~ 令和6年度 (6年間)	交付団体	枚方市



## 事前評価チェックシート

計画の名称： 枚方市駅周辺地区における安心・安全で快適に暮らせる市街地の整備と賑わい創出のまちづくり

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

